



第81号

森商工会議所だより

発行者

森商工会議所

会頭伊藤新吉

電話 2-2432

2019年度

第1回通常議員総会開催

2019年度第1回通常議員総会が6月24日(月)プラザ「武蔵」に於いて開催され、議員47名(内委任状23名)が出席、平成30年度事業報告並びに収支決算報告が行われた後、監事より監査報告がなされ、審議した結果、満場一致で承認されました。

◎事業報告総括

我が国経済は、緩やかな景気回復を続けており、その現状を見ますと、世界経済の緩やかな回復を背景に、アベノミクス等の政策により、企業の稼ぐ力が高まり、企業収益が過去最高となる中で、雇用・所得環境が改善され、所得の増加や消費、投資の拡大につながるという景気の好循環が報道されておりますが、実態は、大手企業と中小零細企業、都市と田舎との景況感の格差が拡大しているのが現状であります。人口減少、少子高齢化、人手不足、消

費マインドの低下という大きな課題を負い、地方における景気回復は遅々とし、依然として厳しい経営環境が続いております。

北海道経済においては、2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震、更に、日本初と言われる大規模停電(ブラックアウト)により、私たちの日々の生活を支える社会インフラは大きな打撃を受け、観光産業をはじめ、農業・酪農等は甚大な被害に見舞われました。

当地区の経済状況については、北海道新幹線開業という千載一遇のチャンスをも十分に活かすことができず、その経済効果は一部地域に限定され、波及効果は期待はずれとなつてしまいました。また、基幹産業である農業・漁業分野では、大雪・冷夏・台風・爆弾低気圧など、地球温暖化現象、異常気象による被害が続出しており、状況は深刻化する一方です。農業分野では、収穫量の減少や作物の品質低下が懸念され、また、漁業分野では、前浜の水揚げ量の減少と、主力であるホタテ養殖が、原因

不明の斃死による漁獲量の激減等により低迷、地場の水産加工業を圧迫し、水産関連業者の廃業や閉店という死活問題に発展しており、早急な対応が求められております。

こうした中、森町の基幹産業である農業・水産業をはじめ、商業、観光関連産業などあらゆる業種において、地元特産品の国内外での販路、及び、新規受注開拓を図るため、本年度も継続して「商談会等出展支援事業」を実施いたしました。事業所の財政を圧迫しがちな商談会・展示会・見本市などへの出展費用の助成、及び、地元特産品のPRに寄与することを目的としたこの事業には、2事業所からの申請があり、国内に留まらず、東南アジアなど海外における今後の展開を大いに期待し支援いたしました。

また、地元飲食店街の賑わいと活気を取り戻すため、7月19、20日には「モリツキー街事業」を実施し、飲食店の活性化を図りました。平成31年2月16日には「森商工会議所会員大会」を開催し、会員相互の親睦と交流を図るとともに、作家の守



屋淳氏をお迎えし、特別講演会を開催、商工会議所創立者である渋沢栄一翁の功績と生涯を、会員の皆様とともにうかがい、良き学びの時となりました。

2019年10月に行われる税制改正では、消費税率が10%に引き上げられ、国内初となる軽減税率制度が導入されるため、複数税率への対応が必要となる中小企業・小規模事業者の方々を対象に、各種セミナーを開催し、軽減税率制度の対応に向けた支援を実施いたしました。また、新産業創出や経営革新に対し支援強化を図るとともに、経営不安や中小零細企業における事業承継問題等に適切に対応するため、指導体制を強化して参りました。さらに、各地商工会議所・商工会と連携を取り合い、商工業の発展のために要望・陳情を推進して参りました。

中小企業者数の減少傾向が続く中、経営不振や高齢のために廃業され退会された事業所が8事業所あり、当商工会議所を取巻く経済環境は厳しい状況にありますが、財政基盤の確保のため新入会員の加入勧奨を積極的に行い、議員・役員はじめ

平成30年度 森商工会議所収入支出総括表

自平成30年4月1日～至平成31年3月31日 (単位:円)

科目 / 区分	一般会計	相談所会計	収益会計	退職金会計	基金会計	合計
会費	10,674,125	—	—	—	—	10,674,125
特定高工業者負担	210,000	—	—	—	—	210,000
道費補助金	—	16,744,776	—	—	—	16,744,776
町補助金	9,477,000	8,199,000	—	—	—	17,676,000
商談会等出展支援事業補助金	344,420	—	—	—	—	344,420
事業収入	651,400	494,000	8,796,551	—	—	9,941,951
雑収入	882,013	44,034	2,008,663	751	410	2,935,871
繰入金	1,500,000	118,889	0	767,952	800,000	3,186,241
繰越金	1,601,027	0	4,466,358	9,177,873	9,276,173	24,521,231
合計	25,339,985	25,600,699	15,271,572	9,945,776	10,076,583	86,234,615

科目 / 区分	一般会計	相談所会計	収益会計	退職金会計	基金会計	合計
事業費	1,513,803	1,760,266	2,919,095	—	—	6,193,164
会員大会開催費	1,682,601	—	—	—	—	1,682,601
給与費	9,760,020	18,390,998	5,536,245	—	—	33,687,263
福利厚生費	1,865,655	2,968,604	1,019,347	—	—	5,853,606
旅費交通費	551,740	731,710	80,730	—	—	1,364,180
事務費	2,505,007	739,391	965,947	—	—	4,210,345
家賃費	1,982,670	—	—	—	—	1,982,670
会議費	479,704	30,000	0	—	—	509,704
渉外費	674,804	—	0	—	—	674,804
支払手数料	—	—	231,984	—	—	231,984
賃料	—	—	—	—	—	0
公課分担金	1,001,500	—	240,400	—	—	1,241,900
福利環境整備費	—	904,536	—	—	—	904,536
繰出金	1,443,889	—	1,500,000	—	—	2,943,889
退職給与金	—	—	—	—	—	0
雑費	104,420	75,194	118,780	—	—	298,394
未納会費回収不能額	0	—	—	—	—	0
予備費	0	0	0	0	0	0
支出合計	23,565,813	25,600,699	12,612,528	0	0	61,779,040
収支剰余金	1,774,172	0	2,659,044	9,945,776	10,076,583	24,455,575
合計	25,339,985	25,600,699	15,271,572	9,945,776	10,076,583	86,234,615

会員の皆様のご協力をいただきました結果、8事業所の加入を得、現状維持できましたことをご報告致しますと共に、深く感謝申し上げます。

他に、会員企業従業員からの福利厚生のための各種共済制度の充実と産業関連事業、ホームページによる企業情報の発信、観光事業の推進協力のため森観光協会的一般社団法人化実現による経済の活性化を目指し、当町の経済発展に関しては、国連決議であるSDGsに沿った

高い目標を掲げ、関連セミナーの共催や協力を通してSDGsを学び、地域経済総合発展のため、会員並びに役員一同総力を結集して活動して参りました。

◎役員・職員永年勤続表彰

◆北海道商工会議所連合会第188回通常
会員総会に於いて永年勤続表彰を次の方々
が受賞されました。

【役員30年以上】

・常議員 佐々木 修
(株)ヤマイチ佐々木精肉畜産 代表取締役

・議員 皆口 正平
(株) 皆口 組 代表取締役

・議員 村上 正人
(有) マルイゲタ 代表取締役

【役員15年以上】

・議員 木村 俊一
カネヨ木村水産(株) 代表取締役

【職員20年以上】

・嘱託職員 古内 久美子

(敬称略)

第69回全道商工会議所大会

6月28・29日の両日、千歳市において、第69
回全道商工会議所大会が開催され、当所より
伊藤会頭をはじめ6名の役員・議員が出席しま
した。

大会初日は、ゴルフ大会・懇親会が行われ、懇
親会では、地元特産品がテーブルを彩り、和や
かなうちに進行されました。

2日目、本大会では、中小・小規模企業につい
て、原材料の高騰や、人手不足、後継者問題な
ど多くの課題を抱えている上、消費税引き上げ
を控えているとして、景気対策や税制面での万
全な支援体制を求めました。また、昨年9月の
胆振東部地震を受け、防災・減災対
策の一層の充実並び
に国土強靱化の促
進を求める特別提
案を含めた16議案
を決議し、牧野北
海道経済産業局長
に手渡しました。



令和元年度第2期分 会費納入のお願い

7月は、当商工会議所の会費納入月となつて
おります。

会費の納入はお手数ですがお振込または事
務所までご持参下さいます様お願い致します。

納付期限 **8月2日(金)** 

新入会員様の

ご紹介をお願いします。

会議所の組織基盤を強化し、地域
経済の活性化を図るために、会員増
強に取り組んでおりますので、会員企業
の皆様におかれましても、お知り合い、
関係先の事務所を是非
ご推薦、ご紹介賜ります
ようお願い致します。



森商工会議所女性会 活動報告

4月22日(月)、プラザ武蔵にて平成31年度「森商工会議所女性会定時総会」が開催され、会員13名が出席し、藤田総務委員長の司会で始まり、木村会長の挨拶のあと、議長の進行のもと議案審議が行われました。事務局より、議案1、平成30年度の事業報告並びに収支決算報告、議案2、平成31年度事業計画並びに収支予算案の説明があり、審議した結果、原案のとおり承認されました。

議案3の役員改選につきまして議場より、片山会員から推薦の声があり、木村会長の再任が決まり、会長より副会長に吉田えり子さん、角田京子さんを指名して承認され、無事終了しました。



5月28日(火)、全道商工会議所女性会連合会令和元年度定時総会に、木村会長と事務局が出席しました。

7月例会を、7月3日(水)に函館市南茅部町の函館縄文文化センターと大船遺跡の見学を行いました。当日は、学芸員の方に国宝の「中空土偶」他を説明していただきました。

森商工会議所青年部 活動報告

【令和元年度定期総会】

6月11日(火)午後6時30分よりプラザ武蔵において、令和元年度定期総会を行い、平成30年度の事業報告並びに収支決算書について、原案のとおり承認決定いたしました。

定期総会終了後の懇親会では、伊藤会頭にご臨席賜り、ご挨拶をいただいた他、新入会員へのバッチ授与などを行いました。



【6月例会(講師例会)】

6月25日(火)午後6時30分より森商工会議所2階交流イベントサロンにおいて、6月例会(講師例会)を開催いたしました。

講師に株式会社にしぎき事務所 代表取締役社長 西崎康博様をお招きし、『事業を継続するために必要なこと』と題し、自身が創業したホームセン

ター「ツルヤ」出店の経緯や経営方針など、経営者にとって非常に興味深い話について講演され、有意義な例会となりました。



【7月例会(ゴミ拾い)】

7月13日(土)午後1時より新川町の海岸において、7月例会「ゴミを制する者は未来を制す」と題し、ゴミ拾いを行いました。

会員本人以外に会員の子供も3名参加し、近年問題となっているプラスチックゴミなど1時間で600kgを拾いました。

また、SDGsに則った活動にもなりました。

